



国際交流活動 in まつうら

今月はALTのダニエル先生が執筆してくれました！



今月は私が紹介します！
(ダニエル・サンドストロム)
Daniel Sandstrom

●豪大学生 20 人が来松

11月16日から19日にかけて、僕の母校であるグリフィス大学から20人の学生が松浦を訪問します。彼らの松浦での目的は「ホームステイ」です。

今年の4月頃に同大学の恩師から、「大学生20人を日本に連れて行くから、松浦でホームステイできないか？」と連絡がありました。僕は「なんとかなるでしょう！」と返事をしました。松浦市とマッカイ市が姉妹都市になってもうすぐ30年になると聞いたので、市内にはホームステイを受け入れたことがある人がたくさんいるから、すぐに集まると思いました。

「グリフィス大学の僕の後輩をホストしてもらえませんか？」と周りの人に声をかけ始めたところ、「他にいなかったら声をかけてね」とか「考えてみます」という返事ばかりで、はっきりしたYESがなくて焦りましたが、松浦市国際親善協会や知人らの協力のおかげで、なんとか受け入れてくれる家庭を確保することができました。ホストファミリーの皆さんありがとうございます！

グリフィス大学の学生たちは1か月かけて日本のいろいろなところを訪問します。最初は北海道の函館を訪れてから、金沢に行って、松山に行って、長崎に来ます。松浦訪問後は、沖縄、京都、大阪、東京を訪問してから帰国します。松浦以外では全てホテル泊となっているので、松浦市でのホームステイ体験をすごく楽しみにしているようです。

ということで、今月16日から19日にかけて松浦市内にオーストラリア人がいつもよりたくさんいます！まちで見かけたら、日本語でもいいから、ぜひ声をかけてください！学生達は、皆大学で日本語を勉強しているので、習った日本語を実際に使ってみることも今回松浦訪問の目的です。僕と同じように松浦は最高と思ってもらいたいです。そして、学生達の中から将来ALTとして松浦に戻ってきたいという声が聞けることを願っています。



図書館へ行こう！
～本を読みたくなる気持ち
にスイッチ・オン！～

市立図書館
☎ 0956-72-4677



松浦市ホームページで
「松浦市立図書館」を検索

土日、祝日開館(年末年始、臨時休館を除く)
休館日は行事カレンダーをご覧ください。

「読書週間」の紹介

終戦して2年経った1947年、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と第1回「読書週間」が開催されました。

それから70年以上が過ぎ、「読書週間」は国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民」の国となりました。その一方、物質生活の豊かさに比べ精神生活の低迷が問題視されている昨今、倫理的思考の基礎となる読書の重要性は、ますます高まってきています。

本年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりの読書への関心と、読書習慣の確立の契機となることを願ってやみません。



イラスト：さとうみずす 標語：沢田真紀 公益社団法人 読書推進運動協議会

イベント情報

- おはなし会(おはなしのへや)
11月4日、18日、25日
午前11時～
- 秋の本活!～11月9日※開館時間のみ(図書館)
使わなくなった本などを必要な方にお譲りします。紙袋等は各自お持ちください。
- 秋の上映会(生涯学習センターホール)
11月4日(日) 午後3時～(110分)
作品「ぼくたちと駐在さんの700日戦争」
- 体験!きらきら号(生涯学習センター駐車場)
11月3日(土) 午後1時～4時
(雨天中止)学校や公民館などを巡回している移動図書館車「きらきら号」を利用してみませんか?
- 宮沢賢治の語りを聞く会(生涯学習センターホール)
11月11日(日) 午後1時開演
主催:まつうら図書館きらきら塾
※詳細は図書館までお問い合わせください。
※予定は変更になることがあります。

お知らせ

11月の特設コーナーは「まだ誰も読んでない、あなたの知らない世界」。目立たないけど実はおもしろい、いろいろなジャンルの本を集めました。新しい世界との出会いがあるかもしれません。

福岡市天神でアジフライジャック！再び？



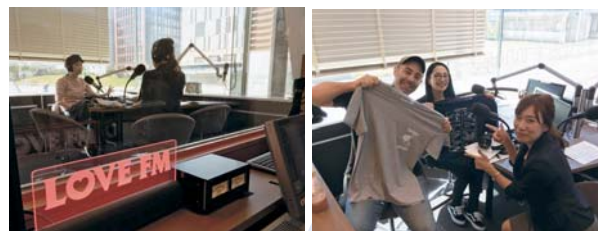
夏の終わりに天神で大行列を巻き起こしたアジフライジャック企画「AJIFRY AFFAIR」。

その第2弾企画を9月29日・30日の2日間、九州最大級の音楽イベント「MUSIC CITY TENJIN」のステージの一つ、ソラリアプラザゼファで実施しました。

今回の企画も福岡の人気定食屋「梅山鉄平食堂」とのコラボにより、音楽ライブステージの傍らで飲食ブースを出展し、2日間で松浦アジフライセット 300食提供、アジフライTシャツを再販するなど、松浦アジフライPRは大好評を得ました。

また、イベント前日には、田部シティプロモーション推進員がLOVEFMをラジオジャックし、朝、昼、夕の3回、番組内でイベントの告知を行い、CMを終日放送するなど松浦PRを展開しました。

目前に迫った西九州自動車道松浦ICの開通を機に、福岡都市圏からアジフライの聖地を目指す松浦市へドライブに来てもらえるよう、西九州自動車道松浦ICの開通を心待ちにしながら、福岡事務所ではまた新たなプロモーションを企画していきます。



▲LOVE FMラジオ番組内で松浦PRする田部推進員



▲イベント当日の様子

お問合せ

松浦市福岡事務所
☎ 092-406-2180

✉ matsura.f@city.matsuura.lg.jp



わたしたちの郷土

150
巻



企画展「中世の松浦—鷹島海底遺跡と集落遺跡—」
開催！

松浦市立埋蔵文化財センターでは、10月10日（水）から平成31年1月31日（木）まで企画展「中世の松浦—鷹島海底遺跡と集落遺跡—」を開催しています。

鷹島海底遺跡からは、船の部材などの木製品や武器・武具類などの鉄製品以外にも多くの陶磁器が出土しています。

また、鷹島海底遺跡と同時期の松浦市内陸上遺跡からも中国産の陶磁器が出土しています。

今回の企画展では、元寇終焉の地である鷹島海底遺跡から出土した陶磁器と市内の陸上遺跡のうち、中国産陶磁器が数多く出土している椋楳田遺跡（志佐町白浜免）、宮ノ下り遺跡（志佐町高野免）、中ノ瀬遺跡（今福町浦免）にスポットを当て、それぞれの陶磁器の用途や遺跡の性格について紹介しています。

水中にある鷹島海底遺跡と陸上遺跡から出土した陶磁器の異なる特徴などを観ることができます。

なお、11月3日（土）に開催される第25回鷹島モンゴルまつり当日は、入館料無料でご覧いただけます。

ぜひこの機会に埋蔵文化財センターにお越しください。



▲鷹島海底遺跡出土の陶磁器



▲埋蔵文化財センター展示の様子